



平成21年度事業計画

1. ネパール事業

- (1) エル・エンジェル校運営継続
- (2) エル・エンジェル校生徒招聘
- (3) サンデベシ校運営協力継続
- (4) ゴルメスワリ校運営協力継続
- (5) 3校合同競技大会開催
- (6) 三校生徒に文具類支給

2. インド事業

- (1) モダバラサ地区の孤児院運営継続
- (2) モダバラサ地区孤児院の孤児数名をネパールへ招待(平成21年11月)
- (3) スリカクラム地区の孤児院の建設(平成22年3月完成予定)
(独)郵便貯金・簡易生命保険管理機構の21年度国際ボランティア貯金助成事業として認許された。
- (4) エイズ病院の建設協力予定
- (5) ビジャカバトナム郊外ガバラ パラオム村の診療所建設協力(平成21年10月完成予定)

4. 国内事業

- (1) エル・エンジェル校生徒国内滞在中のサポート
- (2) バザー、パネル展開催
- (3) 大地震等災害見舞い
- (4) 活動に必要な支援金の確保、拡大
- (5) 「エル・エンジェルボランティア便り」作成および配布。

独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構から国際ボランティア貯金の寄付金配分総額9,747千円をいただき、アンドラプラデッシュ州スリカクラム地区に孤児院を建設することとなり、現地で4月初めに日本から2名渡印し契約及び地鎮祭を行いました。州高官も出席され、モダバラサ地区のエル・エンジェル・チャイルドホームの孤児たち全員も参加して現地風の建設起工式が挙行されました。孤児院は鉄筋コンクリート、1階建ての建物で、建物総面積は306㎡、6部屋に20名の孤児が寝泊りするようになっていきます。建物は来年3月完成予定で、完成後はモダバラサ地区の孤児全員が入居する予定です。孤児たちは孤児院から学校に通って、卒業後も自分たちのホームとして安心して自活できるよう、技術的なことを身につけてもらうよう計画しています。また、来年度、国際ボランティア貯金の寄付金配分事業2年目として、孤児院の2階部分に学校建設を申請する予定です。



インド・スリカクラム地区孤児院建設

生徒来日予定表

9月	曜	滞在内容	宿泊先
19	土	関空着 12:50-広島	広島 ホテル
20	日	広島-小田原-海老名	ホームステイ
21	月	小田原城-パーティ	ホームステイ
22	火	横浜-東京タワー	東京 ホテル
23	水	国会見学	東京 ホテル
24	木	未来館	デズニーホテル
25	金	デズニーランド	デズニーホテル
26	土	宇宙センター	成田 ホテル
27	日	帰国 成田発 12:00	

- ・ ウェルカムパーティー-21日(月) 18:00から
場所 (平塚市民センター内) フジキッチン

書き損じハガキで飢えを救う

中間報告

今年3月よりネパールの子どもたちへの給食支援活動として収集を始めた書き損じハガキは4月末で1,996枚、切手もたくさんいただきました。商品券やビール券・ドル紙幣などもそえてくださり「少しですがお役に立てて下さい」「お腹をすかせた子ども達に食べさせてあげてください」とお言葉が添えられていて、その短い一言に子ども達への愛情を感じ感謝の気持ちでいっぱいになります。ある方は「バザー会場でチラシをもらって家へ帰り家中を探して送らせてもらいました」と、お送りくださいました。送られてくる封書を開ける度、多くの方のお心に触れるとともに、給食を頼いっばい含んだ子どもたちの笑顔が浮かんでいきます。この活動は年度末の3月に1年分の集計をお知らせさせていただきます。次年度以降も引き続き未永く取り組んでいきますので、お知り合いの方にも是非お声かけくださいますようお願い致します。

第四回目の生徒招聘です。
“目的は平和を愛し、世界に貢献できる子に”です。
成績優秀者ということで生徒達は来日を獲得する為猛勉強中です。今までは三月において十年生の成績優秀者でしたが、九月来日の時は既に卒業生となっている為、今年から四月現在の十年生を招聘することにしました。しかしながら三月既に卒業した生徒の頑張りを思いますと男・女一名ずつ招聘することに致しました。
よって今年度は男子三名・女子三名・付き添い二名・計八名の来日となりました。
ボランティアを募集しています。御協力よろしくお願い致します。

生徒招聘

来日の感想 (20年度)

Gita Poudel さん

私たちエル・エンジェル校生徒はエル・エンジェル国際ボランティア協会(LAIVA)に大変感謝しています。以前は村ではこのような高度な教育は到底無理であろうと思っていました。今や市内の他の有名な学校と誇りをもって比較できるようになりました。



LAIVA 代表である長浦先生はエル・エンジェル校生徒の父的な存在で、長浦先生なしには考えられません。LAIVA は毎年、優秀な4名の生徒を日本へ派遣するという大きな機会を与えてくださいました。今回、私は日本を訪問させていただき、天に昇ったような気持ちでした。多くの日本人ボランティアの方々と会って、友情を深めることができました。広島原爆記念館、老人ホーム、東京デイズニールランド、東京港博物館、科学未来館、水族館、小田原城等訪問しました。小学校および中学校にも行き、そこではどのように勉強がなされているかを学びました。訪問の折は、のり子姉が英語に訳していただき、単独では味わえない思いをさせていただきました。今、日本訪問時のすべての出来事、そのときの状況や幸福感を思い出しています。次の年度も私たちの兄弟、姉妹が同じような機会を体験されることを希望しています。彼らもまた日本訪問の夢をもっていきます。彼らは人生のなかで日本訪問という成功を獲得するために、

懸命に頑張っています。長浦先生はまさしく神様です。彼はお年寄りの人々に施設と支援を提供して、老人ホームを創設して、お年寄りに奉仕されています。もしLAIVAが学校を創設しなかったら、地域の人々は子供たちに教育を施すことができません。貧しい人々はお金のかかる学校へ自分の子供たちを通学させることはできないでしょう。毎年多くのことを改善し、改善しています。これらはすべてLAIVAの努力によるものであります。また、LAIVAは生徒たちに立派な昼食を提供しています。

2国の人々の関係が絶対に終わりにならないように希望しています。我々すべてはLAIVAを必要としていて、エル・エンジェル校にとってはLAIVAの存在は欠かせません。エル・エンジェル校の生徒として、LAIVAからの大きな支援を忘れてはなりません。日本でお会いしたすべての日本人ボランティアに厚くお礼申しあげます。彼らはあらゆる場面で助けてくださいました。このような支援が来年以降も日本へ派遣される兄弟、姉妹にもなされることを期待します。私は日本が好きで、規律正しい、几帳面な日本人が印象に残っています。日本はネパールとまったく異なり、日本人のようになるには多くのことを改めねばなりません。日本は清楚で整然としていて、町は美しくかつ静かだと思います。

日本人は「すばらしい」、また我々は日本人の支援を必要とします。このような関係が今後も続くことを希望します。我々は良く勉強して、立派な人間になります。また、エル・エンジ

エル校とLAIVAの名を自慢して言いたいと思います。有難うございました。

サンデベシ校

ペンキ塗装終了

2003年に校舎が完成、しかし、その時はペンキを塗らないままの校舎でしたので月日を



経てペンキの塗装要請がきておりましたが、ようやく4月に塗装終了の運びとなりました。リフレッシュした校舎を喜ぶ子ども達の笑顔が思い浮かびます。

資金調達のために

・叔父がスーパー三和「小川店」様の店長さんに交渉してくださり今回も腕時計や玄関マットなど多くのご寄付をいただきました。

・広島からまた手作りの可愛い巾着袋や、手提げ袋が届きました。いつも丁寧な仕上がりで、子ども達を思うお心に、感動します。

・「不器用な私です。」と、くるみボタンでできた可愛い髪飾りを作って

送ってくださいました。自分ができることを時間をかけて考えて作ってくださいるお心に感動しました。

・4月のバザーのチラシ千組(書き損じハガキのお知らせを添付)を、手作り品製作に忙しい私に代わり息子が各家庭に配ってくれました。大雨の中、約7時間かけ配った息子、引越しの準備で忙しく他に時間が取れなかったから、昼食も食べず配ったとのこと。当日は販売も手伝い、5月ぼっぽ町田もチラシ配りに帰ってきて千組配ってくれました。小学生の時、ネパールで見た子ども達の貧困さを彼なり感じ、役立ちたいと思ったのでしよう。

・5月高ヶ坂バザーのチラシは書き損じハガキのお知らせも一緒に書き、張り切っていたものの倍、6千9百枚印刷。友人2人が8百枚ずつ配ってください、残りを私が8日間かけ配りました。連日の雨、チラシが濡れないよう配るのは大変だと痛感。配りながら思うのは空腹の子ども達の事、元気で配れることへの感謝の気持ち。もつと早くから印刷すればもつと多く配れたのにと後悔の思い。7月のバザー、もつと配るぞ！心に決めています。

横浜駅での募金活動

ぜひご参加ください。

バザーの日程

- ・7月4日福祉フェア ぼっぽ町田
- ・7月5日バザー(予定) 町田市小川会館

- ・8月1日福祉まつり町田第2小学校
- ・福祉フェアとまつりは手作り品とストラップの販売、ストラップくじと子どもくじです。手作り品と新品ストラップを募集します。

HAPPY BOX (書き損じハガキ等の箱) の輪がひろがっています。

設置にご協力をありがとうございます。

町田福祉園

(社会福祉法人みずき福祉会)
日頃より職員さんたちもボランティアに参加していただき「ネパールの子ども達が来日の時にはうちの施設に泊まって、食事と一緒にどうぞ」と申し出てくださる、活動にとっても協力的な総括施設長様(写真)がいらっしやいます。



ドレミの仲間

(町田市 地域デイサービス)
放課後、ハンディを持った子どもたちが心から音楽を楽しめる施設です。設置をお願いしたところ、施設長様自ら収集箱を素早く手作りして、設置してくださいました。



回転江戸前寿司ふじ丸

いつもお客様が心にかけて下さり、つり銭を入れて下さいます。どこの国のどんな所に使われているの?と感心を示して下さい、ポスターを作り置かせていただきました。子供達はどんな暮らしをしているのかしら?お弁当ってこんななんだと感心を持っていただけたらと思います。



○ “共に助け合いたい”それが私たちの願いです。ご協力、よろしくお願いいたします。

- 支援金振込先 郵便口座 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル
記号 10290 口座番号 68107191
- ゆうちょ銀行 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル
店名 (028) 店番 (028) 普通預金 口座番号 6810719
- 三菱東京UFJ銀行 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル国際ボランティア協会
海老名支店(409) 普通預金 口座番号 0966597

そよ風

「大好きな叔母が亡くなりました。伯母の記念になるものを残したいと思いますのでよろしくお願ひします」と広島のM様より篤志を載きました。そこで以前作ったネパール・ドリケルの二教室の上に図書室を作らせていただくことと致しました。自営業をなさっているM様。世界中不景気と言われている状況の中、今回のお申し出にロックフェアの言葉が甦ります。

お知らせ・お願い

ネパールボランティア旅行を十一月十四日〜二十四日まで予定しております。第二回三校合同技術大会を行います。皆様のご参加をお待ちしています。

十一月のネパール学校訪問に向けて約1000名の子ども達のおみやげとして、鉛筆・消しゴム・ボールペン・リボン等を集めています。(古いと途中で使えなくなる物が多いためなるべく新しいものをお願いします。)ノートは重量がかさむため省かせて頂きました。

ネパールの女の子は皆髪にリボンをしています、なかには布を裂いてリボン代わりにしている子が多くいて、その姿に切なくなりません。そこで、今回は日本からリボンを持って行き一人ひとり髪に結んで上げれることを願っています。

赤・白・クリーム色の約3センチ巾のリボンを一人につき50センチ×2本を490名分届けたいと思います。
ご支援ご協力を賜れますよう宜しくお願いいたします。

まあ、どうしましょう。斜面に座った子のスカートの下は下ばきなし。そこで今年の技術大会では9・10年生(78名)はショーツパンツを縫うこととし、今の布の裁断に奮闘中です。また、予算、エコを考え余り布を持ち寄って多目的に使える布袋も作っています。

編集後記

子供達にパンを！子供達にミルクを！子供達に夢を！とバザーに頑張っているEさん。うん 私も頑張ろう。そう！みんなを巻き込むエネルギーが溢れています。一人でも多くの子の笑顔をみたい。みんなの願いです。(岩)